広島県 神石高原町

みんなの町議会

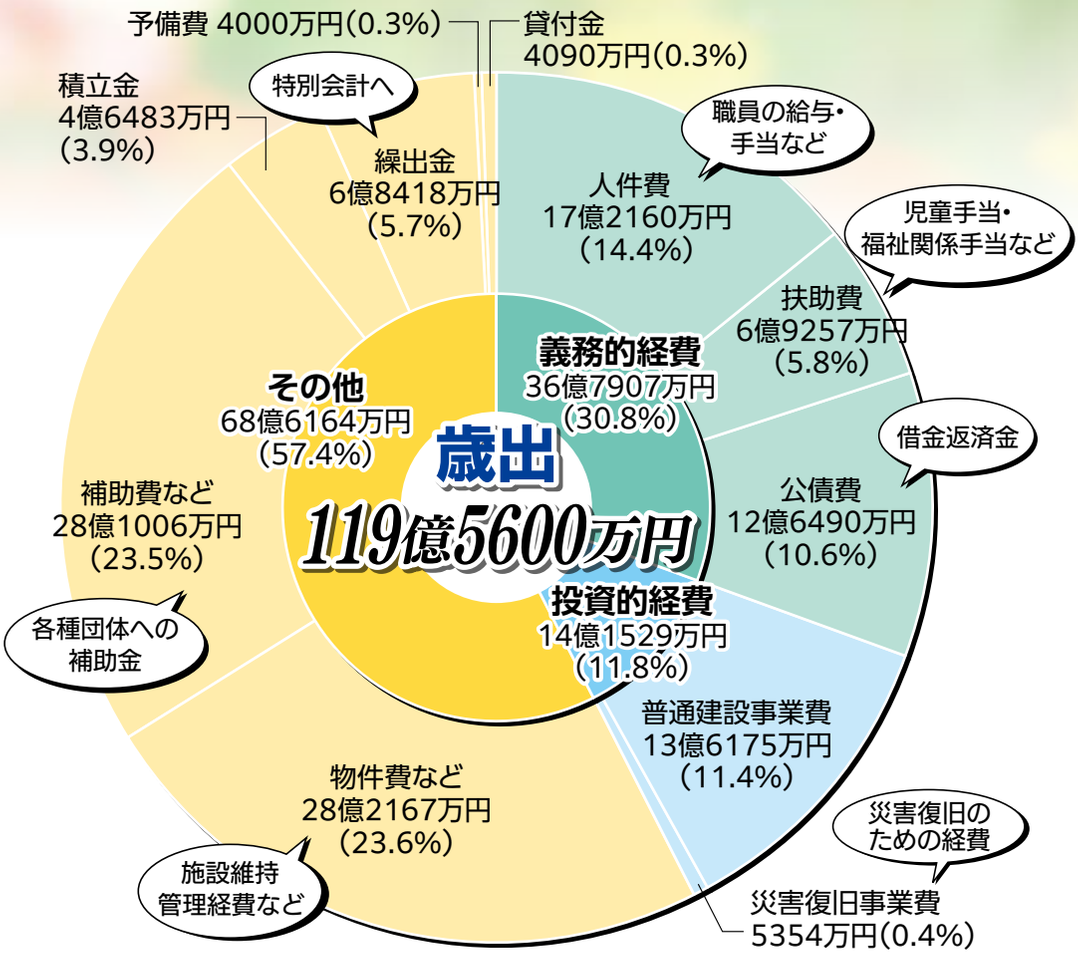
第82号
令和7年4月15日

いざ挑戦!!

令和７年度注目の事業 …… 4
町政のココを問う（一般質問）…… 12
ありゃあどうなった …… 20

つなぐ予算

をめざして　一般会計 119億5600万円

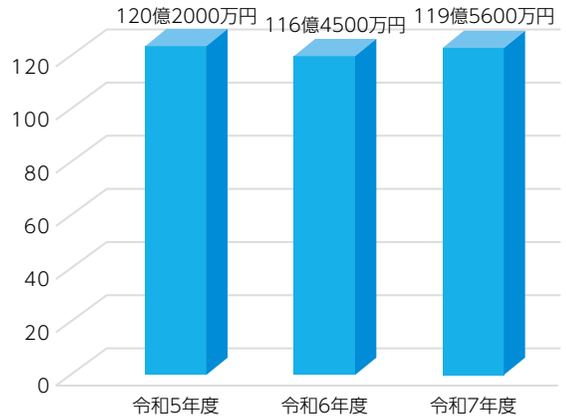


(　)は少数第2位を四捨五入したため合計が合わない場合もあります

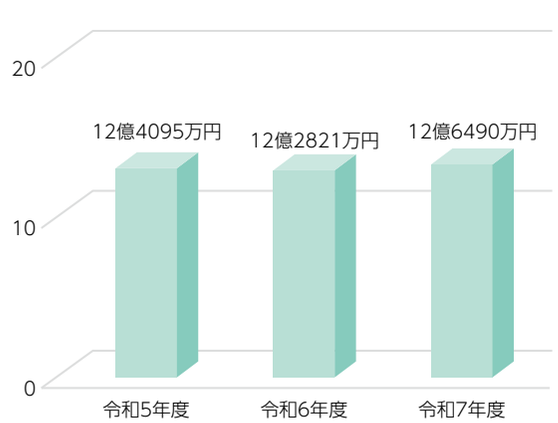
3月定例会

3月定例会は、3月3日に開会し、3月21日に閉会しました。町長の施政方針や第3次長期総合計画が示され、上程された令和7年度一般会計当初予算案などを慎重審議し、発議を含め62議案いずれも可決しました。一般質問では、8人の議員が町政課題など質（ただ）しました。

一般会計予算の推移



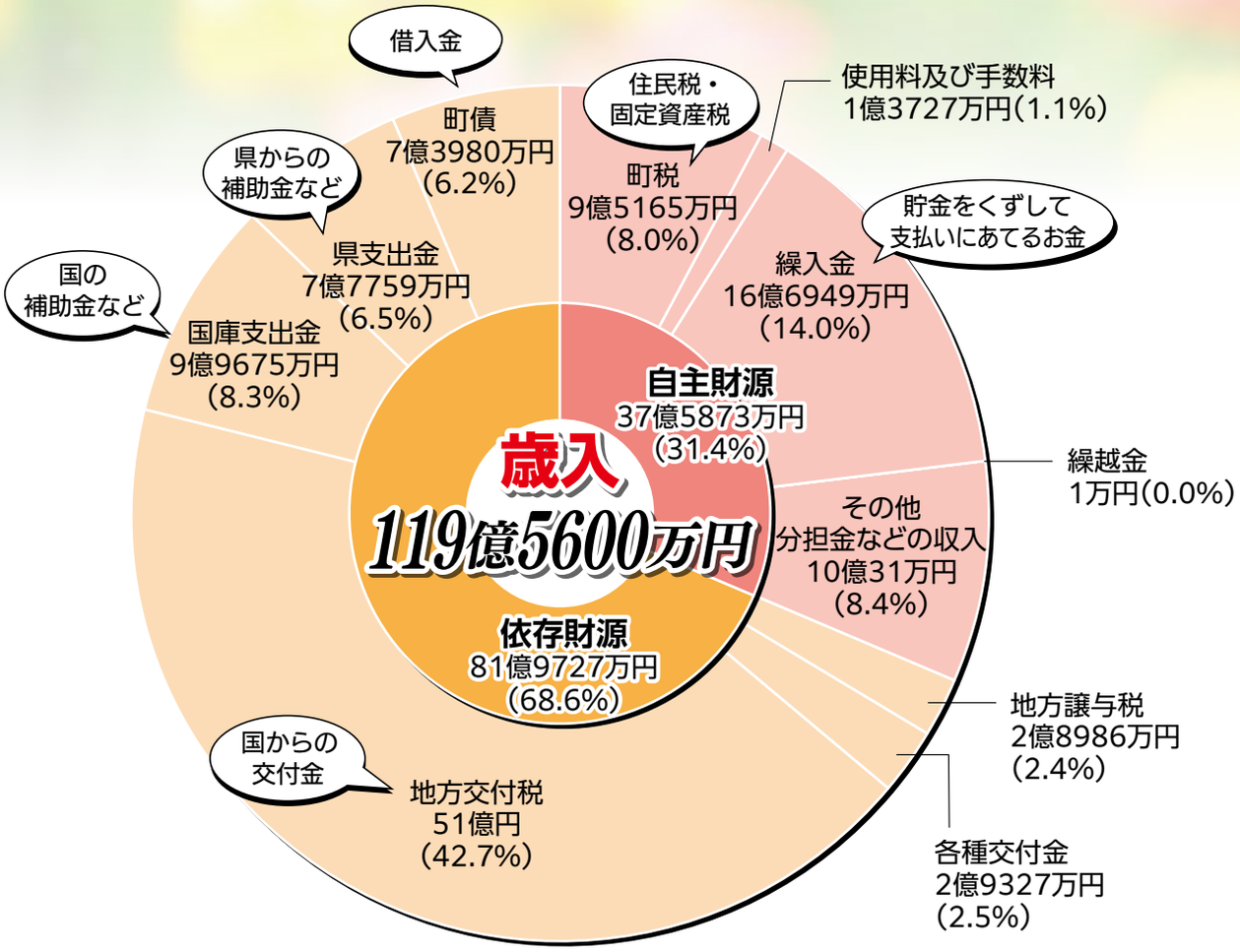
公債費の推移



いまと未来を

魅力ある町づくり

令和７年度 予算　全会計160億4443万円　前年対比0.9%増

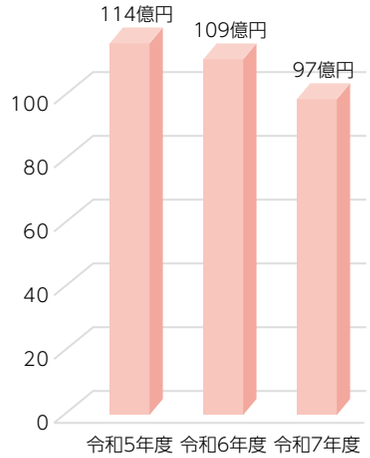


令和7年度予算会計別総括表

単位:万円(四捨五入)

会計名		R7年度 当初予算額	前年度比較 増減額（増減率）
一般会計		119億5600	3億1100(2.7%)
特別会計	国民健康保険	9億7350	△1億9450(16.7%減)
	後期高齢者医療	3億9585	△495(1.2%減)
	介護保険	18億7570	5470(3.0%)
	飲料水供給施設事業	4078	698(20.7%)
	分収育林事業	0	△10(皆 減)
	計	32億8583	△1億3787(4.0%減)
企業会計	病院事業会計	4億9359	△3854(7.2%減)
	農業集落排水事業会計	3億901	310(1.0%)
	計	8億260	△3544(4.2%減)
合計		160億4443	1億3769(0.9%)

基金総額の推移



注目の事業
町をもとめて

子育て・育児支援

妊婦のための支援給付金 新規

妊婦認定後に５万円を支給。
妊娠しているこどもの人数×５万円を支給する。

RSワクチン接種事業 新規

妊婦RSウイルス予防接種補助。
３万8000円／１回（補助上限）
今年度から新たに支援が決定しました。

育児用品レンタル事業 新規

乳幼児期の必需品で一時的な利用品について経費の一部を助成する。
5万円/1回（新生児1人）

子育ての輪が広がるおひさま広場

教育支援

旧高原寮の改修 新規

改修後無償貸し付けする高原寮

神石高原中学校と旧高原寮を有効活用するためのフェンスで仕切る工事他。
1800万円

GIGAスクール タブレット端末更新 継続

Windows10のサポート終了のため小中学校のタブレット端末の更新を行う。
県内で共同購入の予定

令和7年度
暮らしやすい

高齢者支援

役場窓口にある骨伝導補聴器

高齢者補聴器助成事業 新規

補聴器相談医が補聴器の使用が必要と認めた人に購入費の一部を助成する。
新規購入費の2/3補助1人1回限（上限30000円）

高齢者帯状疱疹ワクチン 新規

対象者は65歳以上5歳刻みで100歳まで、60歳以上65歳未満で免疫の機能に障害を有する者
自己負担額は、
生ワクチン　4000円×１回
不活化ワクチン10000円×２回

インフルエンザワクチン接種事業 継続

65歳以上のインフルエンザ予防接種
60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器または免疫の機能に障害を有する者。

生活基盤整備事業

大型ドローン事業 継続

災害発生時に大型ドローンによる物資輸送。有害鳥獣対策。
1355万円
大型ドローン購入他
2.8m×3.1m　最大積載量30kg

福桝川大橋 継続

新耐震基準に適合した橋梁に改修し、幹線道路の強化
令和16年度の完成を目指す
総事業費28億2000万円
（内町負担　9億8700万円）

し尿処理場建替え 新規

令和13年４月の竣工を目指す。
測量調査・地質調査・施設整備基本計画・生活環境影響調査を令和７年、８年度で行う。

建替え予定のし尿処理場

令和7年度　当初予算
予算をチェック

総務課

財政健全化

林　議員
令和7年度一般会計当初予算案は、財政健全化や、縮充に向けて、どのような予算編成に取り組んだのか。

総務課長
自主財源は約3割と厳しく、財政調整基金の繰り入れも継続中。
人口減少に伴い社会システムの見直しが必要。
町の資源を活用し、関係人口を増やし、持続可能な財政運営を目指す。

基金の取り崩し

林　議員
財政調整基金を4・9億円崩しており、残額を計算するとあと9年で基金がなくなるが。

総務課長
歳入に見合う歳出の実現にむけ、本年度取り組みを強化したい。

定員管理

藤井議員
会計年度任用職員の人員増の理由は。

総務課長
令和7年度に予定される参議院選挙と広島県知事選挙に伴う人員である。

ふれあいタクシーの歯科・整体への利用拡充

小川議員
ふれあいタクシーの利用が歯科医院にも拡充されるが対象の歯科医院は。

総務課長
町内であればどこの歯科医院でも利用できる。

小川議員
整体も利用可能と聞くが、告知の方法は。

総務課長
Q&A方式で分かり易い告知を考える。

歯科や整体に利用拡充するふれあいタクシー

町単独事業・神石高原子ども医療費負担事業

柏床議員
昨年度と比較して特定財源が減少し、一般財源が500万円程度増額となっている理由は。

総務課長
特定財源は、過疎対策事業債を活用した基金を活用したもので、この基金を活用し多くの事業をしている。
今年度1事業増加となり特定財源が減額、一般財源が増加したもの。

政策審議監

林　議員
政策審議監を会計年度任用職員で任用したが、優先度の低い事業の見直し・削減の検討が予算編成に反映されたか。

総務課長
令和7年度予算に縮充予算は未反映。
縮充のまちづくりは、住民生活の質向上を目指す取り組み。他市町の事例を参考に、本町での展開を検討中。令和7年度中に方向性を定める。令和8年度から反映させる予定。
人口減少と過疎化が進む中、住民が「住んでよかった」と感じられる町を目指し、持続可能なまちづくりを推進する。

政策企画課

融資資金貸付金

横尾議員
チャレンジファンド融資資金3000万円の内容は。

政策企画課長
令和7年度中に、5年前に貸し付けた3000万円の返還があるが、事業実施期間の調整のため、あらたに貸し付けるもの。

消滅可能性自治体からの脱却

林　議員
消滅可能性自治体を脱却する施策は。

政策企画課長
消滅可能性自治体脱却を目標に、2060年までの人口減少抑制を目指

す。若年層の転入増加を重要視し、住まい、雇用、暮らし、子育て支援、観光など多岐にわたる施策を総合的に推進する。

特に、39歳以下の転入増加を5年ごとに100人、年間20人増やす目標を設定。あらゆる分野の事業を連携させ、目標達成を目指す。

ふるさと大使

林　議員
ふるさと大使の具体的な活動は。

政策企画課長
町出身の3人の著名人を「ふるさと大使」に任命し、町のPRを推進している。各大使は、お笑い、地域づくり、スポーツなど、それぞれの専門分野で町の魅力を発信している。

彼らの発信力を活用し、町内外に向けて町の認知度向上とイメージアップを図っている。

定住促進対策事業

藤井議員
奨学金返還支援事業の対象者は。

政策企画課長
令和2年度以降に神石高原町に移住された人。

町紹介・PR事業

柏床議員
新聞紙面広告は、どの新聞で、広告の大きさ、配布エリアは。

政策企画課長
朝日新聞の備後版に、モノクロで、紙面1／3程度、3万2千部で、1回5万円で3回の紙面広告を予定している。

柏床議員
PR内容は。

政策企画課長
合併20周年町紹介、定住支援、子育て支援に力を入れる町としてPRする。

柏床議員
広告エリアが備後地域内では効果が出ないのでは。

政策企画課長
過去には近畿方面にも広告掲載もしたが、費用対効果を考え、今年度は備後エリアとした。今後は適宜検討する。

林　議員
情報コンテンツ発信の地域おこし協力隊員の定着は。

政策企画課長
協力隊の活動時間は週5日、1日7時間45分のほか、任務外の活動も認める。未来創造課が週1回の会議のほか、フォロー体制を構築する。

未来創造課

横断的連携は

小川議員
定住促進対策事業と移住定住アドバイザー・地域おこし協力隊による町紹介・PR事業はどう連携するか。

未来創造課長
協力隊の会議をパワーアップできるよう、各課横断的に取り組み一貫性・一体的な定住の取り組みにする。

町　長
地域おこし協力隊を含めしっかり連携することで、活動の幅を広げていく。関係人口から移住へ結びつける取り組みをこれからも進めていく。

行政システム

柏床議員
令和7年度で役場の住民基本台帳システムなど国の指標が全20業務標準化となる。本年度の整備にかかる予算は。

未来創造課長
2億1383万円を計上、全額が国庫補助の対象となっている。

柏床議員
令和8年度からのランニングコストは。

未来創造課長
現在、約5800万円だが、概算で1億500万円程度かかる見込みである。

柏床議員
増加分は国の財政措置はあるのか。

未来創造課長
現時点では明確に示されていない。

マイナンバーカードを利用した書かない窓口システム

健康衛生課

ワクチン接種

寄定議員　帯状疱疹ワクチン接種助成への取り組みは。

健康衛生課長　令和7年度から国の定期接種となる帯状疱疹ワクチンは、65歳以上5歳刻みで接種。100歳までが対象。

令和7年度に限り100歳以上の者も対象とする。

自己負担額は生ワクチンが4000円（1回）、不活化ワクチンは1万円（2回）となっている。

寄定議員　骨粗しょう症予防への取り組みは。

健康衛生課長　骨粗しょう症は女性に多い病気で、カルシウムやビタミンDを摂る食事や運動と健診の重要性を伝えていきたい。

帯状疱疹ワクチン接種65歳以上に

福祉課

居宅介護サービス給付

林　議員　令和7年3月末に訪問介護ヘルパーの派遣を休止する事業者がある。利用者数と今後のサービス継続について、町の考えは。

福祉課長　町内訪問介護事業所の休止届が提出され、利用者119人中17人が影響を受ける。

この問題に対し、町は継続的なサービス提供のための対応策を検討しており、利用者の不安解消に努める方針。

子育て応援課

くるみ保育所の指定管理

林　議員　くるみ保育所が町直営から指定管理へ移行して1年経過したが、現在の保育状況は。

子育て応援課長　くるみ保育所の保護者アンケートでは、約93％が保育・運営に総合的に満足と回答。

4月以降、大きなトラブルや苦情はなく、保育所としても丁寧な対応をしてもらっている。

指定管理者で運営するくるみ保育所

病後児保育事業

林　議員　病後児保育事業の予算内容と活用状況は。

子育て応援課長　現在の登録者は5世帯7人である。

実利用実績は1日、1件である。

産業課

油木地域交流拠点施設（リ・クリエイト・ベース）

横尾議員　油木地域交流拠点施設の委託先と指定管理料の503万円の内訳は。

産業課長　3事業者が設立した任意の団体に委託をする。

また指定管理の内訳は光熱費の392万円のほか、トイレ管理委託料・消防設備点検費用などである。

小川議員　商品開発費535万円の内訳は。

産業課長　オリジナル商品開発費200万円。

飲食メニュー開発210万円。

施設宣伝作成業務125万円。

予算質疑

小川議員
開発された商品の評価は誰が、どのようにされたか。また、2年目・3年目の商品開発費の考え方は。

産業課長
1年目は町と地域の人によりオープン時に売れるものを開発した。2年目以降はお客様の意見を取り入れた開発となる予定だ。

ドローンの実証実験

横尾議員
ドローンの重量物物資輸送実証実験で、植林の苗を実際に輸送してスキルを上げては。

産業課長
森林組合などと協議をしてみたい。

駆除されたイノシシ革などを利用したオリジナル商品

NFT観光周遊事業

林　議員
事業の導入目的は。

産業課長
※NFTを活用した観光コンテンツの開発で、観光客の増加を目指す。
NFTは全国的に事例が少なく、誘客効果とインバウンド客増加に期待。地域経済活性化のため、新たな観光の起爆剤としてNFTを導入する。
※NFT　P11を参照

商工会育成支援事業

藤井議員
町内商工会事業者が必要とする施策とは。

産業課長
随時、商工会と連携し、情報を共有し、進めている。
現在、町内の事業者から商工会に寄せられる相談で多いのは事業承継についてである。
また、移動販売事業者に、昨年から車の維持管理経費を上限50万円補助している。

建設課

住宅耐震化補助

寄定議員
住宅の耐震補強補助には、耐震診断士による診断が必要だが対応は。

建設課長
耐震診断士の育成には、建築士事務所登録をしている建築士が国土交通省の実施する講習を受ける必要があるが、町内には、診断士がいない。

道路維持対策事業

藤井議員
道路の草刈り、縁石の修繕は。

建設課長
町道の草刈りは協働支援センターにお願いし町道美化事業として取り組んでいる。実施期間は6月1日から8月10日の年1回としている。
町道の縁石修繕は、古くなり崩れたものは交換をしている。県道は、県へ報告し修繕要望している。

修繕が必要な車道と歩道を区分する縁石

教育課

神石高原中学校 高原寮の改修

柏床議員　工事請負費1800万円の工事内容は。

教育課長　旧高原寮を民間に無償貸し付けし有効活用するため、神石高原中学校との区画を仕切るフェンス、スロープの設置、電気設備などの工事費である。

スクールバスの確保

横尾議員　令和7年度からスクールバス2路線が撤退すると聞くが、状況と対策は。

教育課長　ドライバー不足のため撤退を表明した業者に再度委託できた。今後は様々な角度で検討する。

スクールバスで通学する児童

国民健康保険特別会計

特定保健指導

藤井議員　特定保健指導実施率について、目標値55％に対し現状値（令和5年度）20・7％では取り組みが問われるのでは。

健康衛生課長　生活習慣病予防の健診となるので推進が難しい。令和6年度は、総合健診当日に特定保健指導を受けられるようにしたことで実施率は5割程度になる見込み。引き続き受診勧奨に努める。

介護保険特別会計

一般介護予防事業費

藤井議員　通いの場の参加者の数値目標は。

福祉課長　分母を町内65歳以上全員で算出している。現状値10・9％、目標値11・5％で神石高原町の参加者率は県内4位の実績である。

通いの場（サロンでの100歳体操）の様子

病院事業会計

病院経営

林　議員　令和7年度の町立病院の経営プランは。

健康衛生課長　病院経営は人口減少と医療収益低下により厳しく、今後も悪化が見込まれる。

政策医療交付金など財政支援が不可欠で、指定管理者がコスト削減に努める中、町は住民の安心のため医療維持を重視。

更なるコスト削減と収益増加を目指し、支援策を検討する。

医療機器更新

柏床議員　医療機器の更新で、古い機器の取り扱いは。

健康衛生課長　更新に当たり仕様書に、古い医療機器の処分を含めた価格での予算見積もりをしている。

指定管理者で運営する町立病院

予算討論

令和7年度　一般会計当初予算

7つの指摘をし全会一致で可決

賛成討論

小川　善久　議員

信頼と合意、創造と改革の基本理念のもと、県内で一番住みやすい町、誰もが住んでみたいまちづくりの実現に向け、執行者・議会が一丸となり、課題解決に取り組むことが、将来に繋がるものと信じている。予算の執行に当たっては特に次の7項目について対応されるよう強く要望する。

1. 地域防災リーダーとして期待される防災士のスキルアップ研修を充実させ、地域防災力向上に努めること
2. 鳥獣対策等地域支援機構「テゴス」からの専門員常駐制度を活用する場合、町民の意見を十分に聞き執行すること
3. リ・クリエイト・ベースの指定管理者との契約は、単年ごとに、協議の上、次年度の支援額を決定すること
4. 町外集客スタートアップ支援助成事業や、VR（＝仮想現実・仮想実感）NFT（＝偽造や代替不可能な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ）を活用した観光周遊事業は、観光客増加による地域経済への好循環が生まれるよう取り組むこと
5. アプリを活用した高齢者などの健康管理と行動変容の促進を図り、生活習慣病など健康リスクを減らす未病の取り組みは、より一層町民に広く周知し、健康寿命の延伸を推進すること
6. 事業執行にあたっては、町長部局のみならず教育委員会部局とも連携を図り、縦割り行政とならないよう庁舎内各課が横断的に連携を取り、迅速・確実・誠実な対応となるよう努力すること
7. 令和7年度から第3次長期総合計画が始まるが、人口減少は大きな課題であり、歳入の減少による様々なことを今後縮小していくことは避けられない。このような状況下で、安全・安心に住み続けられる「充実」した地域社会が幸福度の高いまちづくりとなるよう努力すること

町政のココを問う

質疑の一部を要約してお伝えします

問 「こどもまんなか」とは

答 こどものために取り組む社会

藤井（ふじい） 潤子（じゅんこ） 議員

問 神石高原町こども計画の基本理念にある「こどもまんなか」とは。

答 **町長** 基本理念はこどもが生まれ育つ過程を木の成長にたとえ、その過程を家族や地域、行政がより良くサポートする姿を表しているもの。

「こどもまんなか」とは、こどもや子育てをしている人の目線で、こどもにとって最善の取り組みを社会の真ん中に置くことである。

問 すべてのこどもが身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送るためには。

答 **町長** こどもにとって家庭は、社会で生きていくための力を身に付けるうえで、重要な役割を担っている。

家庭以外では、学校や保育所、認定こども園の果たすべき役割、地域でのこどもや子育て世帯への関心や見守り、企業や事業者における労働環境や職場環境の整備など、社会全体がそれぞれの役割を分担することが重要である。

問 育児休業などの取得の推進は。

答 **子育て応援課長** 労働環境の改善について会社への働きかけに取り組みたい。

神石高原町第3次長期総合計画

問 町民アンケートの結果がどのように反映されたのか。

答 **町長** 750人を超える町民からまちづくりに対する回答があった。

「これからも変わらないでほしいもの」という問いには、「豊かな自然環境」、「子や孫が帰って安心できるまち」などの内容が多くあった。

引き続き、アンケートを尊重しながら、計画を実行していきたい。

問 神石高原町のまちづくりに関して意見や要望を町に伝えたことがない人が多い。町の対応は。

答 **町長** 色々お話しする中で他の方法や代替できるものなどがあれば検討したい。

旧高蓋診療所の活用

問 4月から遊休施設となる旧高蓋診療所の活用は。

答 **町長** 普通財産は、転用（用途変更）、譲渡、売却や貸付などを行い有効活用することとしている。

現在、旧高蓋診療所については、利用したいという相談があり、協議中である。

活用が検討される旧高蓋診療所

やまもと　よしひさ
山本　喜久　議員

問 テゴスの活動の成果は

答 ほ場の確認が38件

問 令和6年度に広島県鳥獣対策等地域支援機構「テゴス」に参加しているが、どのような成果があったのか。
　また、数値目標は。

答 **町長**　ほ場の確認、指導38件、地域への説明会が5件で指導後には再度の相談がない事から、侵入の防止に効果があったと判断している。数値目標は専従者に要望していない。

問 テゴスに参加しているのは5市町だが、本町はいくら支払っているか。

答 **産業課長**　週5日勤務で、年間844万円を支払いしている。

問 テゴスの現状は電柵などの初歩的な指導で、我々が求めているのは次の段階の、駆除と環境整備である。
　山から集落に近寄らないよう、荒廃地を整備して緩衝地帯を設ける。また、放任果樹・収穫残渣などの指導に、早く移行を願う。

答 **産業課長**　町民の期待に応えられるよう要望したい。

避難所表示看板

災害時避難所指定は

問 土砂災害危険区域の指定により避難所を取り消された自治会では替わりの避難所として班集会所を指定できないか。

答 **町長**　班集会所はあくまでも一時避難所で、その後、町や自主防災組織が開設する避難所に移動してもらうことが現状では最善と考える。

AED設置の見直しと訓練状況は

問 AED設置個所の増設と現在設置されている機器の屋外設置の計画。また、訓練状況は。

答 **町長**　令和6年度屋外に新規3か所設置した。令和7年度は6か所のAEDを屋外用に取り替える。
　設置個所の増設は地区の配置バランスにより、検討しているが、高額なので、役場では貸し出し用の機器を数台確保している。

答 **教育課長**　学校ではプール監視に際し、毎年訓練している。

答 **総務課長**　役場では、避難訓練は実施しているが、AED訓練は実施していない。3月には避難訓練に合わせてAED訓練を行う予定。

問 心肺停止後3分から4分が最も重要である。地域避難所にAED購入計画の自治会もある。
　避難所備品として設置できないか。

答 **町長**　引き続き検討する。

屋外に設置されたAED（三和協働支援センター）

問 し尿汲み取り料の口座振替は

答 令和８年度には口座振替を実施

柏床（かしわとこ） 由夫（よしお） 議員

問 現在、し尿汲み取り料は納付書納付となっている。他の自治体では口座振替も可能となっているが、金融機関から遠い高齢者など口座振替の要望があるが。

答 **町長** 現在、し尿汲み取り料の口座振替は行っていない。納付書納付は、約６６０世帯である。

今後、金融機関と協議し、運用の確認や導入スケジュールを整理し、早期に実施できるよう進める。

問 いつ頃を目処に、金融機関での振替えが出来るのか。

答 **健康衛生課長** 金融機関との調整にかなりの時間を要することや、公共料金の振替依頼書の印刷などがあるため、早ければ令和７年度中、遅くとも令和８年度から実施したい。

公衆無線ＬＡＮ（フリー・Ｗｉ－Ｆｉ）

問 帝釈峡スコラ、ティアガルテンなど公共施設に公衆無線ＬＡＮを整備してきたが、町立病院、油木スポーツ広場サッカー場、三和野球場など今後の公共施設などへの整備方針は。

答 **町長** 公衆無線ＬＡＮの整備は、令和３年度に策定した「神石高原町デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）推進計画・デジタル推進基本構想」の「Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備」に基づき、新庁舎や町内の観光・宿泊施設などの公共施設に、施設利用者の利便性向上を目的に整備している。

本庁舎、神石支所は整備済み。油木支所は令和７年４月から、豊松支所は令和７年度整備費を計上し、全ての庁舎でＷｉ－Ｆｉ環境が整う予定。

観光・宿泊施設などの公共施設へも、Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備を進めている。

問 町立病院、その他施設への整備は。

答 **町長** 町立病院は患者の利便性に配慮し、整備を検討している。

社会体育施設については、現在整備要望や予定は無いが、油木スポーツ広場サッカー場や、三和野球場などは多くの人の来場が予想される施設であり今後検討する。

産業振興補助金制度

問 人口減少時代を迎え、それに伴い今後は歳入予算も実質減少する予測だが、今後の産業振興の補助金制度の方針は。

答 **町長** 産業課所管による補助金制度は、近年の財政状況を踏まえ、補助事業の目的とその達成度、補助年限・補助率などを再度精査し検討する。

し尿汲み取りに向かう衛生車

今後の町の農業の姿は

問 令和６年度で地域計画も策定し、多くの課題も見えてきたと思うが、町の目指す今後の農業の姿は。

答 **町長** 農業者の高齢化による担い手不足は長年の深刻な課題である。

昼夜の寒暖差を生かした美味しい米や野菜の生産。農業を守っていくため、赤と黒のプロジェクトや有機栽培を中心に、更なるブランド力の向上に努め、振興したい。

問 空き家の利用方法は

答 移住者確保に利用する

小川（おがわ） 善久（よしひさ） 議員

問 子育て応援住宅等取得支援事業の内容は。

答 **町長** 子育て世帯、新婚夫婦、新規転入者、３世代同居希望のいずれかの人が町内に住宅を新築や購入により取得する場合、その組み合わせにより最大１５０万円まで補助するもの。

問 空き家バンクの成約数は２１６件で、定住に繋がったのは２０１件と成果としては大変高い実績の事業だと思ってる。

町が把握している空き家の数は。

答 **建設課長** 令和５年度空き家物件数は、１２５３戸確認している。

問 ホームページの空き家物件に対し、屋内の写真数を多くしたり、留守宅サービスとして有料で清掃サービスなどを行うことができないか。

答 **未来創造課長** ホームページの検索数が多いので、できるだけ空き家所有者の了解が得られれば、写真などの情報量を増やすことに努めたい。

留守宅サービスは、委託しているＮＰＯ法人に情報提供したい。

問 移住定住に関しての業務が各課の縦割り業務となっているように見える。

ひとつのプロジェクトとして、横断的に連携できないか。

答 **副町長** 情報発信が上手く出来ていないと認識している。

柔軟な対応が行えるよう体制を構築する。

地域防災力の向上を

問 有事の際、地域防災力の中核となる消防団や自主防災組織、防災士の連携は。

答 **町長** 実際の災害発生時に立ち上げる災害対策本部のなかで、役割を決定する。

問 南海トラフ巨大地震など大規模災害での初動体制と避難所の開設・運営はだれが行うのか。

答 **総務課長** 非常体制の場合、役場職員は全員参集。

基幹・準基幹避難所は役場職員が開設・運営をする。職員の中の消防団員については、役場業務を優先することになる。

地域・集落避難所は自主防災組織で開設・運営することとしている。

問 町は避難所の開設・運営する職員が少なく現実的には開設不可能なので避難所の数を集約した。

（一社）危機管理教育研究所理事長国崎信江さんと飯田市が考案した『ファースト・ミッション・ボックス』というものがある。箱の中に、あらかじめ役割と行動を示したファイルを入れ、指示書通りに行えば避難所の開設・運営が住民だけで出来るものだ。導入の考えは。

答 **総務課長** 非常に有効な手段であると感じた。

情報収集をして、取り入れていきたい。

空き家毎の写真数を増やして分かりやすく

問 透析患者の入院対応は

答 他の医療機関を紹介して対応

横尾（よこお） 正文（まさふみ） 議員

問 町立病院で透析をしている方がおられるが、入院が必要な場合、対応ができるのか。

答 **町長** 透析患者が入院された場合、24時間の対応が必要である。透析専門医がいないため受け入れが困難だ。入院が必要な患者には、他の医療機関を紹介している。

ワクチンの一時負担

問 乳幼児や児童のインフルエンザワクチン接種の一時負担を免除できないか。

答 **町長** 接種時、一旦全額お支払いいただき、費用が確認できる書類で申請してもらう。かかった費用を助成している。

今後は町立病院での接種は、支払いが不要となるように病院関係者と協議を進める。

公共事業の今後

問 町道時安線は、工事が長期にわたっているが、進捗状況は。また、完成の見込みは。

答 **町長** この路線は平成30年豪雨災害により令和2年度を事業休止した経緯がある。

社会資本整備総合交付金による工事を行っている。

平成20年代後半頃には、事業ベースで5000万円程度の交付金があったが、年々減少し、最近では2200万円にまで減少している。

このままでは完成まで25年～30年要する見込みだ。

問 早期完成のため、2車線化を1・5車線への計画変更を地元住民と協議しては。

答 **建設課長** 協議を申し込んでみる。

問 国・県の公共工事が近年大きく落ち込んでいる。

このままでは土木建築業者がさらに減少し、除雪や県道の草刈りなどに対応できなくなる。

町として業者を支えるべきでは。

答 **町長** 草刈りや除雪の対応は今後ますます難しくなる。

国・県の道路改築予算が減少するが、インフラメンテナンス予算はこれまで以上の増加が予想される。

業者の方にはインフラの長寿命化工事を受注し、雇用に繋げていただきたい。

買い物難民

問 町内ではお年寄りを中心に買物に困っておられる方が多いが、今後の対策は。

答 **町長** 昨年度実施したアンケートでは、スーパーが欲しい、買い物に困難をきたしているという記載が多く、重要な課題である。

原因は商店主の高齢化や人口減少と考えている。

現状では、商店を誘致するのは困難で、移動販売車が有効な手段と考えている。

神石の協働支援センターでは「生協ひろしま」と連携し、通いの場での共同購入をしている。

業者の懸命な除雪作業

問 将来、町の財政は大丈夫か

答 非常事態宣言を発出する状況でない

久保田龍泉（くぼたりゅうせん） 議員

町の財政状況

問 施政方針で「歳入に応じた歳出の実現」の取り組みを強化する必要があると記されている。町民が安心できる説明を。

答 **町長** 令和7年度予算編成では社会保障関係や公共施設の維持管理費の増大により、歳出削減と歳入確保に苦慮し、事業の先送りや既存の事務事業の縮減を行い、不足財源は財政調整基金などの繰り入れを行った。

持続可能な行財政運営を確立するため歳入確保と歳出抑制に取り組むことが喫緊の課題であるが、現段階ではすぐに非常事態宣言を発出する状況ではない。

農業振興

問 コメ不足による価格高騰が起きているが見解は。また、コメの作付面積は例年並みか。

答 **町長** これまで生産に係るコストがコメの販売価格に反映されておらず、今の価格も高すぎるとは思ってない。

作付面積は、6月頃わかるが最終的に620ha程度の現状維持の予測である。

問 農業用機械導入補助の対象者は農業法人・営農組合・認定農業者に限定されているが、他の専業農家も対象にすべきでは。

また、機械は新品に限られているが、中古機械も対象にすべきでは。

答 **町長** 要件を満たす専業農家の方も経営計画を立て、認定農業者になっていただきたい。

産業課長 中古機械は業者に問い合わせており、令和7年度に検討したい。

問 地域おこし協力隊は新年度7人採用予定だが就農者は対象でない。農業担い手として採用してもいいのでは。

答 **町長** 不足で労働力確保が困難だ。

また、農業公社のあり方は就農者を含めて検討している。

町有地の跡地活用

問 旧井関小学校跡地のこれまでの整備費と、今後の計画は。

答 **町長** これまでの整備費は約3600万円。内訳は、旧三和民俗資料館解体工事費2500万円、支障木伐採費220万円ほか。

土砂災害特別警戒区域解除対策工事を行った場合は最低約2400万円必要で神石高原温泉と移設新築を行うことも含め協議している。

問 道の駅さんわ182ステーション北側きのこの森周辺に民間事業者が産前・産後ケアを提供する産婦人科を設立されるようだ。町はこの計画にどこまでかかわるのか。

答 **町長** 令和36年3月31日まで民間業者へ有償貸付を行っている。事業の執行は民間企業の資本計画によりおこなわれる。

一般的に町において整備することが適当であることについては対応したいと考える。

産婦人科へ改築される『旧きのこハウス』

問 新年度予算編成への思いは

答 神石高原町らしさを未来に繋ぐ

寄定（よりさだ） 秀幸（ひでゆき） 議員

問 持続可能なまちをめざした新年度予算編成への町長の思いは。

答 **町長** 世界をはじめ日本の社会情勢は、非常に不安定であり、本町の行政運営や地域社会も影響を大きく受けている。

人と人との繋がりや絆、生活環境、福祉、歴史文化、産業資源などを強みとし、持続可能な未来を見据えた成長と発展に向けた取り組みを進めていく必要がある。

「人」への投資や「人」との連携・協働を推進力に、「神石高原町らしさを未来に繋ぐ」をテーマに新年度予算を編成した。

1 防災力の強化
2 医療・福祉の充実
3 教育と子育て支援
4 農林商工業と観光
5 人口減少対策の五つの柱を掲げた。その中でも特に、急速に進む人口減少は大きな課題の一つである。人口減少対策を進める総合戦略として、
① しごとをつくる
② 人の流れをつくる
③ 結婚・出産・子育ての希望を叶える
④ 魅力的な地域をつくる、という「人口減少適応策」を第3次長期総合計画に内包させたところである。

神石高原町らしさを前面に出し、職員一丸となって令和7年度予算を執行していきたい。

防災力の強化

問 防災力強化への取り組みは。

答 **町長** 国土強靭化地域計画および地域防災計画に基づき、地域の防災力を向上させなければならない。

また、自助、共助による地域防災力の強化が重要である。自主防災組織や地域の防災リーダー役である防災士、災害時の協定を結んでいる民間企業や、本町に本部を置くNGOやNPO団体などと日ごろから災害時を想定した訓練を通じ、防災・減災への取り組みを進めていきたい。

第3次長期総合計画

問 第3次長期総合計画への取り組みは。

答 **町長** 国土強靭化地域計画をベースに、最上位計画である「第3次長期総合計画」との整合・調和を図り、地域防災計画に沿った防災・減災、安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

タブレット端末の更新は

問 GIGA（ギガ）スクールで配備されたタブレット端末の更新計画と活用は。

答 **教育長** 令和7年9月末をめどに更新する計画だ。セキュリティの面から安全な活用が難しいので、全ての機器のデータを削除し処分する。

ICTの特性を生かし、探究的な学習の充実や授業改善に向け、児童生徒の発達段階や個々の状況などに応じて活用を工夫し、より効果の高い教育に取り組む。

9月に更新予定のタブレット端末

問 企業誘致をどう展開するか

答 大胆な施策が必要

上原（かみはら） 伸一（しんいち） 議員

企業誘致

問 企業誘致について今後どのように展開していくのか。

答 **町長** 東京で年3回開催される広島県主催のマッチングフェアに参加し、実際に企業と話している。

本町の魅力と各種制度をアピールして興味を示された企業には、来町しお試しサテライトオフィスを利用いただいた事例もある。

問 現行制度の検証は。

答 **町長** 民間の意見も伺い、大胆な施策が必要という結論に達した。

令和6年3月に神石高原町工場等設置奨励条例を大きく見直し、企業参入のアピールポイントとした。

問 誘致したい企業や業種は。

答 **町長** 重点的に誘致する企業、業種などは限定していない。

問 企業の新規参入意欲を神石高原町の農業分野へつなげていく考えは。

答 **産業課長** 就農フェアなどで説明をしているが、現状は個人向けとなっている。

今後は、あらゆる企業が農業参入を促せるように手法を検討する。

空き家の活用は

問 空き家情報バンクへの登録を、どのように推奨するか。

答 **町長** 昨年度は、23件の登録があった。

令和6年に実施した空き家実態調査の時にチラシをポスティングし、功を奏した事例もある。

また、ホームページの移住・定住促進サイト「いなかぞく」に、移住体験談や地域や街の魅力を掲載し推進している。

就労支援の取り組みは

問 人手不足により、町内の企業で採用が円滑に行われていない状況を把握しているか。

また、企業説明会など開催の考えは。

答 **町長** 町主催の合同企業説明会などの開催予定はない。11チャンネルに求人情報を掲載している。かがやきアプリも活用しアピールしている。

32業種を掲載中で、農業関係では、神石高原町人材交流・求人募集サイト「じんせき神材ネット」に掲載している。

今後、開催時期や開催方法を検討する必要がある。

問 企業側の求人活動の場が必要ではないか。

答 **産業課長** 令和4年12月に、役場で一般と高校生を対象に説明会を開催した。

15社出展し、油木高校生4人、一般1人が参加した。

町の支援条例を利用したホームセンター

追跡!! ありゃあどうなった

町立病院の空調機凍結事故

令和5年1月25日午前8時頃、病院内に水漏れ事故が発生した。

原因は、1月24日から25日の寒波到来時の異常低温による、空調システムの凍結によるものであった。

事故の概略は、屋上にある外気処理空調機（病院内の各所に換気、給気を行う機器）に空冷ヒートポンプチラーから一定温度の温水が、異常低温のため供給ができず外気処理空調機内部が凍結し、配管の凍結破損により、2階廊下と3階備品管理庫などと、4階機械室に水漏れしたもの。

対策として、外気処理空調機の温水温度低下時に、風量及び加湿量の制限と温水温度低下時アラーム設置、温水温度制御機能などを追加し対処した。

本年2月4日の寒波到来時に病院に現地調査に行き、その後の経過説明を受けるとともに病院屋上の機器の正常稼働に作動しているのを確認した。

正常に稼働しているチラー

議会との対話集会

今年は、商工青年部・女性会・青年会との対話集会を企画しています。（5月下旬予定）

＝＝　いっしょに町政について考えましょう　＝＝

条例制定・改正

こんなことが決まったよ!!

主　な　も　の

条例

○神石高原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例
　要旨：勤務年数区分に、新たに「35年以上」区分を追加する政令の公布に伴う条例の一部改正、令和７年４月１日から　　全会一致

○油木スポーツ広場設置及び管理条例の一部を改正する条例
　要旨：施設区分に応じた利用料が必要であるため一部を改正　　全会一致

その他

○財産の取得について
　要旨：窓口申請支援（書かない窓口）システム機器の取得　　全会一致

○神石高原町第３次長期総合計画
　要旨：神石高原町第３次長期総合計画の策定　　全会一致

○公の施設における指定管理者の指定
　要旨：神石高原町油木地域交流拠点施設
　　Re-create　BASE（リ・クリエイト・ベース）
　　管理運営組合　　賛成多数

人事案件

○人権擁護委員の任命同意
　藤井義則さん、神部多賀子さん、岡﨑玉江さん
　任期は、法務大臣が委嘱した日から3年間　　全会一致

議員賛否表（賛否の分かれた議案のみ）

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席

議案名	寄定 秀幸	久保田龍泉	横尾 正文	林 憲志	小川 善久	柏床 由夫	山本 喜久	藤井 潤子	上原 伸一	橋本議長
公の施設における指定管理者の指定	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	－

議長は採決に加わらない

議員発議

健康長寿のまちづくり調査特別委員会設置に関する決議

提案理由

町内の状況は高齢化が進み、医療費の増加も懸念される中、元気に自立して生きられる期間を示す「健康寿命」は、男性が73歳、女性が75歳となっています。

住民が健康で生涯にわたり安心して暮らすことができる健康長寿の延伸について調査研究するため、特別委員会の設置を要望するもの。

提出者　小川善久
賛成者　横尾正文

常任委員会活動報告

神石高原バイオマス発電所　プロジェクト概要

産業建設常任委員会

令和7年2月10日

○未利用材の利用促進
　日本の森林面積は約2500万ヘクタール、日本の国土の67％が森林です、この豊かな森林から生まれる間伐材等の未利用材を再生可能エネルギーとして有効活用します。

○発電と熱利用
　石炭や原油の化石燃料の代替に森林の未利用材を使い、発電することで、二酸化炭素の排出を削減します。発電の際に出る余熱は、入浴施設、空調の暖房、農産物の温室栽培等の熱源に利用します。

○経済効果と雇用促進
　バイオマス発電所が間伐材等の未利用材を購入することは、地域経済の活性化と雇用の促進に繋がります。間伐材を有効利用することで、森林環境を整備し、美しい自然環境を次世代に残します。

事業用地
　神石高原町光信59―2

事業規模
　発電出力790kw／熱出力1，500kw

発電方式
　木質バイオマスガス化発電

発電開始
　2025年1月

敷地面積
　2，800㎡

年間木質チップ消費量
　地域の間伐材等未利用材の木質チップ
　約9，000トン／年

熱利用方法
　光信寺　ゆっくら
　空調・給湯など

特記事項
　神石高原町と地域資源環境の実現に関する協定書を締結

稼働中の発電装置

地域との連携教育でぬくもりある学校づくり　三和中学校

総務文教常任委員会

令和7年2月12日

　教育委員と三和中学校を訪問しました。
　郷土を愛する教育では、伝統芸能や「ほんまもん体験」を通じて、地域の人との関わりを持ち、地域の課題を生徒自身が発見し、実際に現場に行き地域の人と一緒に課題解決に取り組んでいました。
　タブレット(情報端末)は、英語や体育の授業でも活用されています。学校での使用において、スペックやWi－Fi環境の強化を望まれています。
　油木高校への進学を第一希望とする生徒は連携型入試を利用しています。令和6年度は6割が町内から進学しました。
　部活動の地域移行については、適切な指導者の確保、発達段階を踏まえた教育的な指導、また生徒との関係性の構築の場でもあることから、調整が課題となっています。
　お互いに尊重し合い、ぬくもりある学校づくりに取り組まれていました。

校長から学校の教育目標の説明

数学の事業を参観

まちの声

議会クイズの回答と共に寄せられた要望・意見・感想など主なもの

●一人暮らしです。町外への交通費大変です。（福永）

●11月に町長及び町議会選挙も無事に終わり今後の更なる町の活性化に期待します。一人暮らしの高齢者（私の場合）、運転免許も返納し、町立病院までのタクシー補助があるも、６００円でも厳しいので再度検討してほしい。（上豊松）

●町内に食料品店を増やしてほしい。高齢者困ってます。福山までのアクセスが悪いので、朝晩で高蓋～１８２ステーションまでのバス路線をお願いしたい。（小畠）

●新人の議員さんと共に、町政が発展します事を楽しみにしています。（高光）

第64回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

10月1日から はがきの値段が63円から85円に上がったよ!

❶ 令和7年度一般会計当初予算〇〇〇億５６００万円
❷ ベビー用品〇〇〇〇事業
❸ 〇〇〇〇のまちづくり調査特別委員会

●応募方法
ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。（メールFAX可）
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先
〒720-1522 神石高原町小畠1701番地
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

●ＦＡＸ　0847-85-4201
●メールアドレス
jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp
●締め切り
・はがき 令和７年6月6日（金）消印有効
・メール 令和７年6月6日（金）17時締切
●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。
皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

①表紙写真㊫㊊工作所
②一般会計補正予算額１億⑥⑧④⑧万円
③油木㋭㋬㋮㋦広場サッカー場建設工事

第63回　議会クイズ当選者

有木地区　橋本ひとみ さん

おめでとうございます！

油木地域交流拠点施設

いざ挑戦!! 4月26日(土)10時 グランドオープン

おいでんしゃあ油木百彩館が閉店して2年半、リ・クリエイト・ベースとして、リニューアルオープンすることとなった。

「せっかく近くに高校があるのに…」「油木の街を寂れさせてはならない」そう考えたのは、3人のクリエイターたちだった。

町外から移住してきた革細工職人の河野弘樹さん、映像クリエイターの村上勇太さん、彼らに賛同した呉在住の古川潤太郎さんが食事を提供する。

地域の賑わいづくりに休日は町内外から来られる方々のために、平日は油木高校生の集いの場になればと考えられた。

コワーキングスペース

映像クリエイター“ダストマンズ”スタジオ

革細工工房

外観の写真

愛称：Re-create BASE（リ・クリエイト・ベース）
『３つのRe』Re-create（再創造） Re-design（再設計） Re-vive（復活）理念に活動

目的：地域の資源を生かした活力のある産業と交流の町づくりの推進を図ることを目的に、ものづくり事業者の拠点と、地域住民等の交流・学び・憩い・賑わいの場所として整備されました。

場所：神石高原町油木乙1983番地２　（旧おいでんしゃあ・油木百彩館）

運営：Re-create BASE管理運営組合

北側の入口付近には、新500円玉で地元の野菜が買えるコインロッカーも予定されています。

編集後記

4月に入り、取材中に小学校の児童が通学時に大きな声で挨拶をしてくれる。子どもたちの、笑顔が見え続けられる地域・町でありたい。（柏）

議会広報常任委員会

委員長　小川　善久
副委員長　柏床　由夫
委員　林　憲志
委員　藤井　潤子
委員　上原　伸一

■発行責任者　議長　橋本輝久
■住所／広島県神石郡神石高原町小畠一七〇一
TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201

■発行：神石高原町議会
■編集：議会広報常任委員会

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています